

多自然川づくり取り組み事例

タイトル：齊内川河川災害関連事業における多自然川づくり		
水系/河川名：雄物川水系/齊内川	河川分類：中小河川	
河川の流域面積：84km ²	整備計画流量：540m ³ /s(W=1/20)	セグメント：1
事業：災害復旧	事業開始年度 平成27年度	
目標設定：定性的	段階：D(実施・施工時)	
課題・目的(主な)：縦断的連続性の保全・再生・創出、瀬・淵の保全・再生・創出		
工法(主な)：築堤、魚道、落差工、帯工等の整備		
配慮事項(主な)：河川景観への配慮、多自然川づくりのアドバイザー制度の活用		

背景・課題、目標設定

平成27年7月23日から26日にかけての梅雨前線豪雨により、齊内川流域においては最大時間雨量62mm、降り始めからの累加雨量280mmを記録した。この豪雨により、齊内川中流域の金鏡地区および齊内地区においては、洪水の異常出水を起因とした破堤や河床の著しい異常低下による護岸崩壊、床止工の損壊等の被害が発生し、河川災害関連事業により、これらの工区について改良復旧工事を実施した。



写真-1 金鏡工区 破堤状況



写真-2 齊内工区 護岸崩壊状況

改良復旧を実施するにあたり、齊内川において「多様な河川形態の創出」や「生物の生息・生育・繁殖の場となる河川環境を創出」することを目的とし、下記の配慮を行うこととした。

- ・多様な河川形態の創出(瀬・淵、みお筋の復元・形成)
- ・XXXXXXXXXX魚介類の生息環境の確保
- ・子どもたちの環境学習等への配慮

取り組み内容・対策例

<取り組み内容>

- 【金鏡工区】消失した自然河岸の復元及び重要魚種の生息環境の保全
 - ・水制工及び寄土により自然な河岸水際部を復元
 - ・現況の生息環境(自然ワンド等)に影響を及ぼさないように工事を実施
- 【齊内工区】多様な河川形態の創出・復元及び生息魚介類への配慮
 - ・帯工やバープエ設置による安定した水深及びみお筋の確保
 - ・魚道工やワンド工整備により、上下流方向への連続性確保や生物の生息・生育環境への配慮
- 多自然川づくりアドバイザー制度の活用
 - ・アドバイザーから助言・指導を得るため、現地調査を実施
 - ・河川管理者と施工業者、アドバイザーが連携し、齊内川本来の河川環境の創出を行う

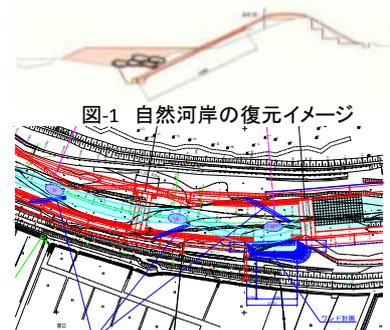


図-2 齊内工区多自然川づくり計画

モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

<整備状況>



写真-4 金鏡工区(1)



写真-5 金鏡工区(2)



写真-6 齊内工区(1)



写真-7 齊内工区(2)

<モニタリング結果>

- ・金鏡工区及び齊内工区において、良好なみお筋が形成されている。
- ・施工箇所周辺のワンドにおいて、重要魚種が施工中や工事完成後も確認され、生息環境が保全されている。
- ・設置した魚道を遡上する魚類が確認され、上下流方向の連続性が確保されている。

<今後の対応>

- ・齊内工区における平坦区間については、バープエを設置することにより、瀬・淵やみお筋を形成し、多様な河川形態の創出を図る。
- ・今後もモニタリングを実施し、得られた知見をもとによりよい河川環境の創出を検討する。

備考

齊内川河川災害関連事業における 多自然川づくり

Keywords : 災害復旧, 瀬・淵の保全・創出, 縦断的連続性の確保

●取組事例1



●取組事例2



齊内川 河川災害関連事業により改良復旧を行うにあたり、失われた瀬・淵、みお筋の復元や現況の良好な生物の生息環境の保全などへの配慮が必要であった。本取組では、多様な河川形態及び生物の良好な生息環境の復元・創出を目的として、多自然川づくりを実施した事例を紹介する。